

避難されている皆さまへ

被災地では、衛生状態が悪化し、感染症がまん延しやすい状況にあります。
手洗い・手指消毒等の一般的な感染症予防を心がけてください。

集団生活で注意すること

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等の呼吸器感染症

- 咳・くしゃみをする時は、周りの人から顔をそむけましょう。
- 咳が出るときは、マスクを着用しましょう。
- 外から帰った際は、手洗いまたは手指消毒をしましょう。

ノロウイルス等感染性胃腸炎

- 食事の準備や食事の前、トイレの後はよく手を洗いましょう。
- 手を洗えない場合は、手指消毒用アルコールで代用しましょう。
- 排泄物や吐物・おむつの処理は、素手で行わないようにしましょう。
- 排泄物や吐物に汚染されたものの消毒は、塩素系の消毒剤（ハイターなど）を使用し、適切に行いましょう。

災害復旧作業等で注意すること

破傷風・レジオネラ症・ダニ媒介感染症等

- 破傷風は、傷口が土などで汚染されることで感染します。
がれきの撤去作業等の野外作業の際は、長袖・長ズボン・手袋・長靴等を着用し、肌の露出を少なくし、怪我をしないようにしましょう。
- レジオネラ症は、河川や土壌等に広く存在するレジオネラ属菌に汚染された粉塵等を吸入することで感染します。作業の際は、マスクを着用しましょう。
- 野外作業の際は、ダニ媒介感染症（日本紅斑熱、つつが虫病、SFTS等）にも注意が必要です。森林や草地等に入る場合は、長袖・長ズボン等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。